

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立国見中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類以降に降された後、コロナやインフルの影響を受けながらも学校行事や教育活動を工夫して実施し、一定の教育成果を上げることができた。 ・学校運営協議会を中心に、両小学校や地域との連携を図ることができた。また、PTA活動もほとんどの活動を再開し、通常の学校運営に戻すことができた。 ・『学び合い』を校内研究の柱にし、学校全体で研修と授業実践に努めたことで、授業に主体的に取り組む生徒が増え、学力向上につながる成果が見られるようになってきた。次年度も継続して取り組む。 ・生徒指導部会、校内支援委員会、教育相談部会、SC、SSW等との連携を図り、組織的な生徒指導や支援体制を強化することができた。

2 学校教育目標	自ら気づき、考え、判断し、主体的に行動する生徒が育つ学校
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>(1) 分かる授業の構築と確かな学力の向上</p> <p>(2) 豊かな心と健やかな体づくり</p> <p>(3) 家庭・地域、小学校との連携</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○『学び合い』の考え方を取り入れた授業の実践 ・課題に対して全員が達成する授業づくりをどの教科においても目指す。 ○教科ごとに単元計画表を作成し、生徒が見通しをもって学習に取り組む環境をつくる。 ・「くにみんタイム」を活用し、基礎学力の定着、向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意識調査において、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒の割合全校生徒の80% ○家庭学習に取り組む生徒を70%以上 ○教科ごとに単元計画表を作成し、生徒が見通しをもって学習に取り組む環境をつくる。 ・「くにみんタイム」を活用し、基礎学力の定着、向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『学び合い』の考え方について研修を行い、各教科の授業において実践する。 ・めあてにせまるための効果的な課題の設定と、全員が達成したことを確認するアウトプットの方法を教科ごとに設定する。 ・研究授業を実施する。 ・単元計画表を教科ごとに作成し、主体的な家庭学習につなげる。 							研究主任	
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○全学級において、道徳の授業を年1回以上保護者に公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の教育3点セットを活用した授業を実施する。 ・ふれあい道徳で授業を公開する。 ・朝の会で「伊万里っ子しぐさ」を活用する。 ・性教育講座、薬物乱用防止教室、防犯教室を実施する。 ・「人権作文」に関する取り組みを全校で行う。 							道徳教育担当 人権・同和教育担当 性教育等担当	
	<ul style="list-style-type: none"> ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ等の問題が発生した際は、生徒指導主事を中心に、早期解決に向け全職員で組織的に対応 ○「生徒にとって安全で安心な学校づくりが行われている」と感じる生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部会を毎週1回開催し、取組や事案等の共通理解を図る。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。 ・情報教育を充実させ、情報モラル教室を年間に1回以上実施する。 								生徒指導主事
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・認める、ほめる活動を全職員で行う。 ・生徒会スローガン「輝～ひとりひとりが主役になるために、助け合い伸び合う学校～夢実現のために一人ひとりが努力する学校～」を実現するために、生徒会が主体となって取り組む活動をサポートする。 								生徒会担当
	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の夢や目標に向かって努力していると回答した生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間に「ENAGEED」を計画的に取り入れた教育課程を編成する。 								総合的な学習の時間担当 各学年主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ●安全に関する資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に良い食事をしている」と考える生徒90%以上 ●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の準備に関する授業を学年ごとに家庭科で実施する。 ・食育講演会を年間に1回以上実施する。 ・交通安全教室を年間に1回以上実施する。 ・通学路の点検と危険箇所の把握に努め、生徒への指導助言を徹底する。 								食育担当 安全指導担当
	<ul style="list-style-type: none"> ○「部活動に係るガイドライン」を踏まえた部活動の適正指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動に目標を持ち取り組み、楽しく活動ができている、安心して取り組める生徒を80%以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活単位やキャプテンによるボランティア活動、挨拶運動を実施する。 ・部活動顧問会及びキャプテン会議を定期的に実施し、部活動の実態把握と適正化を生徒と議論する。 								体育主任 各部活動顧問
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日を定期退勤日(部活動休業日)に定め、職員の時ムネマネジメント力の向上を図る。 								管理職
	<ul style="list-style-type: none"> ○学年・学級経営の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年の協働意識の高揚、職務の効率化の推進 ○教職員の多忙感の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の学年会で情報交換や協議を行い、共通理解に基づいた協働を推進する。 ・担任の仕事、級外の仕事を明確にし、支援体制を整える。 								管理職 各学年主任
<ul style="list-style-type: none"> ○子ども理解を進め、障害の種類や程度に関わらず、ニーズが満たされるすべての場において適切な指導と必要な支援を行う教師集団を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師向けのチェックリストを作成し、それをもとに振り返りをした教師が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援委員会を設置し、定例会議を開催し(検討した方がよいケースなどは随時会議を行う)、情報共有と支援方法等の確認をする。 ・特別支援教育研修会の実施 ・SC、教育相談部会、外部関係機関との連携 ・LITALICO教育ソフトの活用をし、生徒の支援情報の管理と、掲載教材の有効利用をし、支援の向上を図る。 								特別支援教育コーディネーター	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育を通しての学ぶ意欲と態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と感じる生徒の割合90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育年間指導計画(道徳・特別活動・総合的な学習の時間・教科・行事等とキャリア教育との関連図)の再検討を行いながら教育実践を行う。 ・キャリアパスポートによる系統的な指導方法の研究を行う。 							特別活動担当
○開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等への参加促進と情報発信の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観・学校行事等への保護者参加率60%以上 ○各種便りの定期的(毎月)な発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日、内容の工夫改善を行う。 ・学校便り、学年・学級便り等を定期的に発行する。 							管理職
○生徒指導体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な生徒指導体制の強化 ○学級経営の充実・生徒理解の深化 ○支援体制の整備 ○教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員共通の指導体制の確立 ○隣接校や関係機関・地域との連携強化 ○不登校生徒への支援体制の充実 ○特別支援教育の研修会を学期に1回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年生徒指導担当者会や全職員による生徒指導会議を実施する。 ・他校や地域との生徒指導連絡会や巡視を実施する。 ・校内支援委員会、教育相談部会、サポート会議、学年部会の連携を強化する。 ・特別支援教育を充実させる。 ・「教育相談便り」を発行する。 ・SC、SSWの活用と教育支援センターとの連携を図る。 ・年間3回の学校生活アンケートと教育相談週間を実施する。 							生徒指導主事 教育相談担当

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--